

2026
新春号
No.100
O-moi-yari

藤枝市立総合病院だより

100
号記念

おもいやり

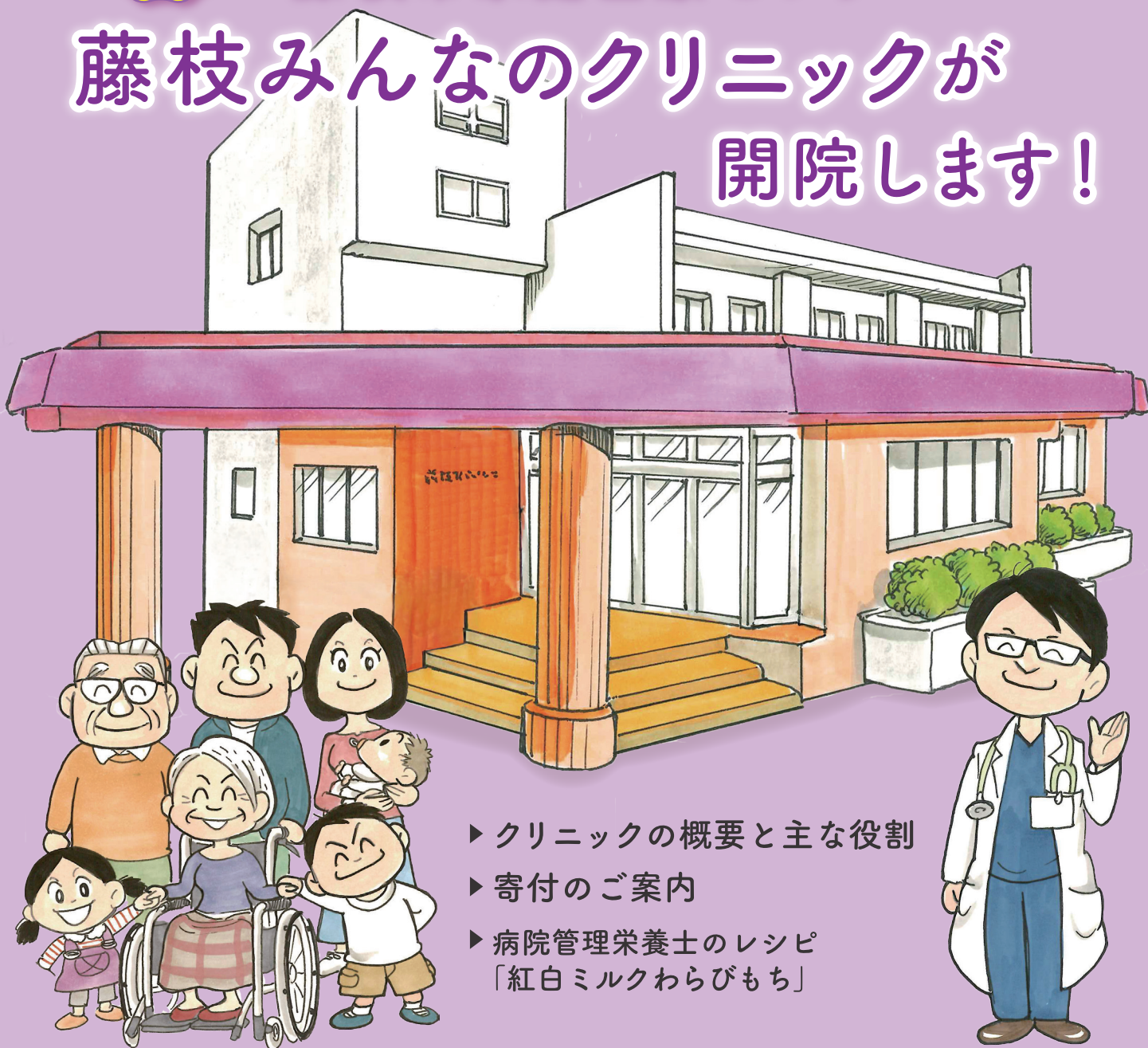
O-moi-yari

2026.4月
開院
(予定)

＼市民と共に育む新しい医療拠点／

藤枝市家庭医療センター

藤枝みんなのクリニックが 開院します！



- ▶ クリニックの概要と主な役割
- ▶ 寄付のご案内
- ▶ 病院管理栄養士のレシピ
「紅白ミルクわらびもち」

藤枝市立総合病院

Fujieda Municipal General Hospital

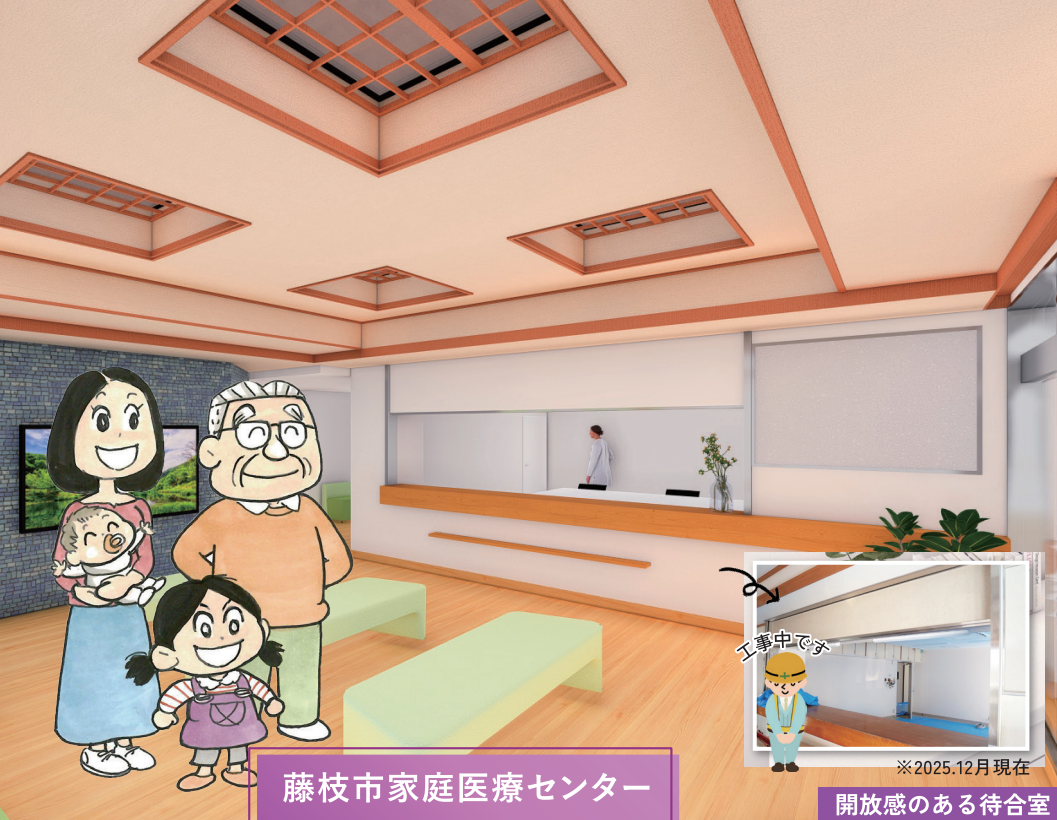
病院トップページは
こちらから



おもいやり最新＆
過去号はこちらから



イラスト／吉本どんど



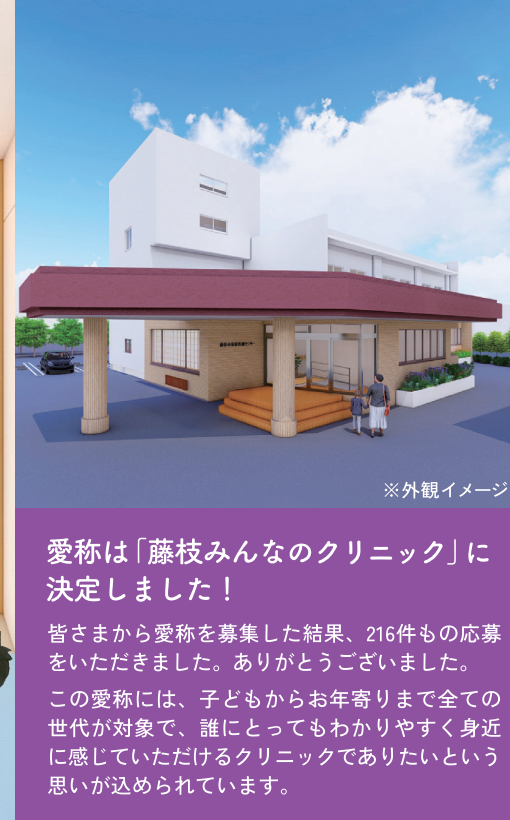
藤枝市家庭医療センター



リラックスできる診察室



開放感のある待合室



※外観イメージ

愛称は「藤枝みんなのクリニック」に決定しました！

皆さまから愛称を募集した結果、216件もの応募をいただきました。ありがとうございました。
この愛称には、子どもからお年寄りまで全ての世代が対象で、誰にとってもわかりやすく身近に感じていただけるクリニックでありたいという思いが込められています。



主に私が診療します

PROFILE

家庭医 / 総合診療医 **松永 拓**

- 【出身地】静岡県静岡市
【卒業大学】北海道大学医学部医学科
【専門資格（一例）】
・日本専門医機構 総合診療専門医 特任指導医
・日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医 プライマリ・ケア認定医 指導医
・日本病院総合診療医学会 病院総合診療認定医
・公認心理師 ・産業医 ・公衆衛生修士

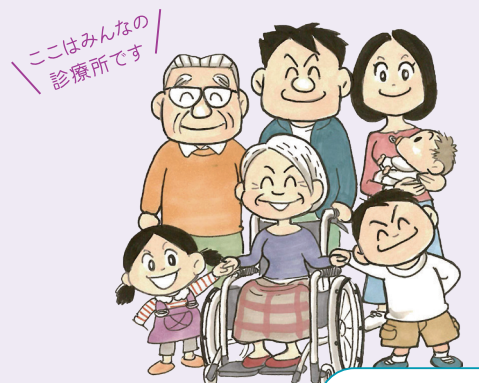
今までは静岡県中～西部地域を中心に、家庭医/総合診療医として診療所や病院で様々な患者さんと接し、経験を積んできました。

松永先生の趣味は？

スポーツ観戦と旅行が趣味です。写真は埼玉スタジアムでのサッカー観戦です。



「藤枝みんなのクリニック」が 今年4月に開院します!!



ここはみんなの診療所です

家庭医療センターとは？

当センターは、県中部地域初の家庭医療センターとして整備されます。総合診療専門医（家庭医）による幅広い診療領域をカバーする医療機能に加え、総合診療専門医の養成機能、訪問診療・看護の拠点機能を兼ね備えた**地域密着型のクリニック**です。地域の皆さまに寄り添い、日常の健康づくりから、いざという時まで頼りにしていただける「みんなのクリニック」として、地域に末永く親しまれ、利用される施設となることを目指します。

藤枝みんなのクリニックの3つの主な役割

1 外来診療

子どもからお年寄りまで、さまざまな訴えや症状を持った患者さんの話を聞き、患者さんの心身や家庭環境などを踏まえた診療を行います。身近な健康相談から慢性疾患の管理、予防・健診等の「かかりつけ医機能」を担う拠点となります。※紹介状なく受診できます。



例えばこんなケースもお気軽にご相談ください

どの科に行ったらいいか迷う
診療科や病院選びに迷う症状も幅広く対応します。

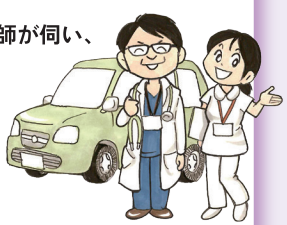
複数の疾患があるけれど...
複数の科に当てはまる疾患でも、総合的に診療できます。

子どもと一緒に診てほしい
世代を問わず、赤ちゃんからご年配の方まで受診可能です。

病院に行くべきかわからない
少しでも心配なことがあれば、気軽に相談してください。

2 訪問診療

通院が難しい方のご自宅に医師や看護師が伺い、**診察・処方・採血などの基本検査**を行います。慢性疾患の管理から疼痛コントロール、終末期ケアまで継続的に対応し、急な体調変化時は往診や連携先への紹介で迅速にサポートします。



3 訪問看護ステーション

24時間365日体制で看護サービスを提供し、**退院後の自宅療養や在宅での看取りまで**対応します。病気や障害を持った方が住み慣れた地域や家庭で、その人らしい療養生活が送れるように支援するサービスです。生まれたてのベビーから100才の高齢の方まで幅広くご利用されています。



市民と共に育む新しい医療拠点

～誰一人取り残さない持続可能なプライマリ・ヘルス・ケアを目指して～

家庭医/総合診療医 松永 拓

2026年4月、藤枝市家庭医療センター「藤枝みんなのクリニック」が新たに開院します。年齢や病気の種類にかかわらず、気軽に相談できるクリニックとして、市民の皆さまの健康を長く支える存在を目指します。日々の体調管理から慢性疾患のケアはもちろん、在宅医療（訪問診療）、予防医療、ちょっとした身体の不調や心の

悩みまで、子どもから成人、高齢の方まで幅広いニーズに丁寧に応えてまいります。地域の医療機関とも連携し、安心して最期まで暮らせる藤枝のまちづくりに寄与できれば幸いです。皆さまの声に耳を傾けながら、信頼される医療を育ててまいります。



他にもこんな大切な役割が!

市立総合病院の退院後もフォロー

市立総合病院と電子カルテを共有することで、**入院中から退院後の在宅ケアまで、切れ目なく患者さんをサポート**でき、お薬の管理や栄養指導、ご家族への支援も、スムーズに、きめ細かく対応できるのが大きな特徴です。

幅広いネットワークで他病院への紹介もスムーズ

必要な検査や専門治療が見込まれる場合、適切な医療機関を迅速にご紹介します。救急時の受け入れ先調整やセカンドオピニオンの相談も可能で、切れ目のない医療を提供します。



必要に応じて藤枝市立総合病院への紹介も

総合診療医（家庭医）の育成機能

当クリニックは総合診療医を育てる教育拠点でもあります。指導医のもと、外来・在宅・予防医療を横断的に学び、臨床推論やコミュニケーション、救急初期対応、専門医連携やチーム医療を習得します。

藤枝市家庭医療センター 藤枝みんなのクリニック【2026年4月開院予定】

【住所】藤枝市南新屋246-1 ※近藤胃腸科外科跡地

診療科目	内科、小児科、皮膚科、心療内科、婦人科、外科、整形外科
受付時間	午前8:30～11:30/午後1:30～4:30
診療時間	月 火 水 木 金 土 日
午前9:00～12:00	● ● ● ● ● / /
午後2:00～5:00	● ● ● / ● / /
休診日	木曜午後・土・日・祝・年末年始

- 自動車：県道381号線「青木」交差点（五叉路）からすぐ ※駐車場完備
- 公共交通機関：JR藤枝駅北口下車、徒歩で約13分
JR藤枝駅北口下車、静鉄バス 中部国道線または志太温泉線で「青木1丁目」下車、徒歩で約3分

詳細はこちら



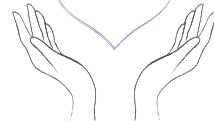
※令和7年12月現在の情報です。内容が変更する場合がございます



寄付のご案内

今年度も下記の方々より心温まる寄付・寄贈をいただきました。
皆さまからの温かいご支援・ご声援が何よりの励みです。
心から感謝しお礼申し上げます。

THANK YOU



当院では、市民や団体の皆さまからの寄付を受け付けております。ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



寄付の詳しい情報はこちら



日付	寄付・寄贈者名	寄贈内容	
R7.4月	三輪 和秀 様	寄付金	200,000円
R7.5月	匿名 患者 様	スチール製車椅子・ドクターケアシート	
R7.6月	匿名 患者 様	寄付金	500,000円
R7.7月	匿名 患者 様	寄付金	10,000円
R7.9月	匿名 患者 様	寄付金	1,000,000円
R7.11月	飯塚 昌洋 様	車椅子	
R7.11月	静岡産業大学 鳳翔祭実行委員会 様	寄付金	20,090円

(令和7年4月～11月現在)

100号記念

病院管理栄養士のレシピ Vol.22

Menu 紅白ミルクわらびもち



創刊号で掲載されたレシピ
ミルクわらびもち

をプチアレンジ!



【材料】4人分（調理時間15分）

～いちごソース～

- ・牛乳 …………… 400ml [2カップ]
- ・片栗粉 …………… 30g [大さじ3強]
- ・砂糖 …………… 40g [大さじ4.5]
- ・冷凍いちご …………… 100g
- ・砂糖 …………… 18g [大さじ2]
- ・レモン汁 …………… 5g [小さじ1]

※半分の量で作る場合は、いちごソースは600wで40～50秒を目安に加熱し、色が茶色くならないように様子を見ながら調整してください。

※イチゴソースはいちごジャム40gをレモン汁5g、水15gで溶くだけでも作ることができます。

【作り方】

- 1 解凍したいちごをつぶし、砂糖とレモン汁を加える。
- 2 ラップをして電子レンジ（600W）で1分30秒加熱する。
- 3 よく混ぜて粗熱をとり、冷蔵庫で冷やしておく。
- 4 鍋に片栗粉と砂糖を入れ、牛乳を少しずつ加えながら泡立て器でよく混ぜる。
- 5 中火にかけ、焦げないようにヘラで絶えず練り続け、粘りが出てまとまるまで加熱する（目安2～3分）。
- 6 スプーンを使って一口大にすくい、氷水に落としていく。
※1本のスプーンですくって、もう1本のスプーンで氷水に落とすと落としやすい。
- 7 6のわらびもちを器に盛り、いちごソースをかけて完成。

1人分の栄養価 エネルギー151kcal たんぱく質 4.8g 脂質 3.5g 炭水化物 26.4g 食塩相当量 0.1g

100号のお祝いを兼ねて、創刊号のレシピを「紅白ミルクわらびもち」にアレンジしました。わらび粉を片栗粉に代用してあるので、気軽に作ってもらえると思います。



病院管理栄養士
保母

過去のレシピも
cook padに掲載中!



100号の歴史

1997年創刊～



おもいやり創刊号は
1997年夏に発行。



健康にまつわる様々な
テーマを取り上げました。

2010年～



創刊60周年の2010年夏に
発行された53号で、
ほぼ今の形になりました。

2021年～



コロナ禍でも、
検診を受ける
大切さを
発信しました。

これからも有益な情報を
発信していきますので、
よろしく願い致します。